

# いちのせきの教育



「ジュースのみたい！」～みんなで集まると楽しいね～

## 2025

一関市教育委員会

## 一 関市民憲章

わたくしたちは ゆたかな自然と  
悠久の歴史に育まれた いわいの里に  
誇りをもち 心あわせて活力ある  
一関をつくるため この憲章を  
定めます

- 一 教養を高め  
誇れる文化を育てます
- 一 健康で働き  
豊かな郷土を築きます
- 一 自然を愛し  
美しい環境を守ります
- 一 思いやりと協力で  
安全な暮らしをつくります
- 一 地域が結び合い  
輝く一関を目指します

(平成18年9月1日制定)

# はじめに

一関市教育委員会

教育長 時 枝 直 樹

今日の教育を取り巻く社会環境は、多様に変化しており、グローバル人材の育成、キャリア教育の推進、子どもの状況に応じた特別支援の充実、いじめ防止等の対策、人格形成の基礎となるコミュニケーション力の育成など、教育の質の向上が求められております。

また、市民の学習意欲の高まりに応じた多様な学習機会を提供することや、先人からの文化を受け継いでいくこと、文化財を保護し、活用することが求められております。

市立小中学校は児童生徒の減少から学校統合が進み、現在、小学校 21 校、中学校 14 校の合わせて 35 校体制となっています。

少子化が進むなかで、一関の持続的な発展を支えていくためには、心身共に健やかな人材の育成が欠かせないものと認識しており、将来を担う子どもたちが、ふるさと一関に誇りと愛着を持ち、地域を支える人材に成長するよう、教育行政を推進しているところであります。

本年度は、平成 28 年度から令和 7 年度までを計画期間とする「一関市教育振興基本計画」の最終年となります。この計画の基本目標である『学びの風土を礎に<sup>いしづえ</sup>心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり』の実現に向けて、「ことばを大切にする教育プロジェクト」、「グローバル人材育成プロジェクト」、「学校と地域の協働推進プロジェクト」及び「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」の四つの重点プロジェクトを着実に推進するとともに、取り組みを総括してまいります。

このたび、当市の教育の現状や振興の施策などを、皆様に紹介するため、「いちのせきの教育」を刊行いたしました。本書が幅広く活用され、より一層のご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

結びに、当市の教育行政施策の推進にあたりまして、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

# 目 次

一関市の概要	(4)
教育行政	
Ⅰ 教育委員会	(5)
1 教育委員    2 教育委員会機構図    3 市の関係課等	
Ⅱ 令和7年度教育行政方針	(7)
Ⅲ 教育財政	(12)
1 令和7年度一関市一般会計当初予算    2 教育費の内訳	
3 学校の校地、建物の面積と教室数	
学校教育	
一関市学校教育の基本構想	(17)
1 令和7年度学校教育行政の方針及び指導の重点	(18)
Ⅱ 幼稚園教育の方針及び重点	(20)
Ⅲ 学校教育関係事業	(21)
1 重点課題・事業等について    2 市教育委員会指定研究校等について	
3 総合訪問    4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大 学校運営推進協議会	
Ⅳ 市内各学校（園）の概況	(25)
1 児童生徒数・学級数・教職員数	
2 学校紹介	
(1) 小学校    (2) 中学校    (3) 高等学校    (4) 高等専門学校・短期大学	
(5) 特別支援学校    (6) 幼稚園・認定こども園	
Ⅴ 学校保健	(67)
1 児童・生徒の健康	
令和6年度身長・体重（男女別平均値）	
2 学校保健団体等	
(1) 令和7年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師    (2) 一関市学校保健会役員	
(3) 一関市学校保健会評議員	
3 学校給食	
(1) 学校給食の現状    (2) 学校給食センター	
Ⅵ 各種委員会	(76)
1 「中学生の社会体験学習」実行委員会	
2 一関市就学支援委員会	
3 一関市生徒指導推進連絡協議会	
4 一関市いじめ問題対策連絡協議会	
5 一関市学校給食センター運営委員会	
6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大 学校運営推進協議会	
7 一関市奨学生選考委員会	

VII	令和7年度一関市教育研究所の運営について	(83)
	1 運営方針 2 運営の重点 3 運営組織	
VIII	令和7年度一関市教育研究所事業概要	(84)
	1 運営の方針及び重点に基づく各事業内容 2 令和7年度事業計画	
	3 各事業計画	

## 社会教育

I	社会教育行政の方針	(87)
	1 一関市教育振興基本計画の概要 2 令和7年度社会教育行政の方針	
	3 令和7年度社会教育行政の方針(図書館、博物館) 4 令和7年度文化財行政の方針	
II	令和7年度社会教育行政施策の体系と事業	(94)
	1 社会教育行政の方針 2 文化財行政の方針 3 令和7年度事業計画書	
III	社会教育関係施設紹介	(106)
	1 市民センター 2 図書館 3 社会教育文化施設 4 宿泊交流研修施設	
IV	指定等文化財一覧	(134)
V	社会教育関係委員	(140)
	1 社会教育委員 2 一関市立図書館協議会委員	
	3 いちのせき健康の森運営委員会委員 4 文化財調査委員 5 博物館協議会委員	
	6 石と賢治のミュージアム運営委員会委員 7 芦東山記念館運営委員会委員	
	8 骨寺村荘園遺跡指導委員会委員	
資料 I	一関市教育委員会歴代委員	(142)
	II 一関市教育委員会の沿革	(143)

# 一関市の概要

一関市は、岩手県の南端に位置し、南と東は宮城県、西は秋田県と接しています。特に宮城県北地域との結びつきは強く、北上川を介しての交流も古くから行われてきました。

一関市は、四季折々に多彩な表情を示すめぐみ豊かな自然に包まれています。そのなかで象徴となっているのは、市の西側、奥羽山脈にそびえる栗駒山と、市の東側、緩やかな丘陵地が広がる北上高地の独立峰となっている室根山などの山々です。栗駒山の周囲には深い森が広がり、湯量豊富な須川温泉をはじめ多くの温泉に恵まれています。北上高地は隆起準平原地形で、なだらかな高原には牧場が各所に開かれています。また、平泉の歴史との関わりが深い東稲山も特徴的な山容を見せています。

北上平野の南端部にあたる市の中央部には標高の低い平地が広がり、東北一の大河北上川がゆるやかに流れています。北上川の支流は、西から磐井川、金流川、東から砂鉄川、千厩川などが注ぎ込み、流域に水のめぐみをもたらしています。磐井川の中流域には溪谷美を誇る巖美溪、砂鉄川には石灰岩地帯を深く刻み込んだ猊鼻溪があり多くの観光客が訪れる名所となっています。

一関市の歴史は古く、旧石器時代から人が住み始めた形跡が見られ、縄文時代や弥生時代の遺跡も各地にあります。平安時代には安倍氏、藤原氏が独自の文化を築き上げ、その後葛西氏、伊達氏、田村氏の治世下に置かれました。

明治の近代化以降の地域の成り立ちは、明治の廃藩置県によって胆沢県、一関県、水沢県、磐井県と変遷し、明治9年に岩手県に編入されました。戦後まもなくまでは、32の町村に分かれていました。

昭和23年から33年にかけてのいわゆる昭和の大合併によって、旧一関市、旧花泉町、旧大東町、旧千厩町、旧東山町、旧室根村、旧川崎村、旧藤沢町となり、平成17年9月20日に7市町村が合併し、さらに平成23年9月26日には旧藤沢町との合併を経て現在の一関市となりました。

# 教 育 行 政



# 教育行政

## I 教育委員会

### 1 教育委員会の構成



伊藤委員  
(職務代理者)



時枝教育長



佐藤委員



桂島委員

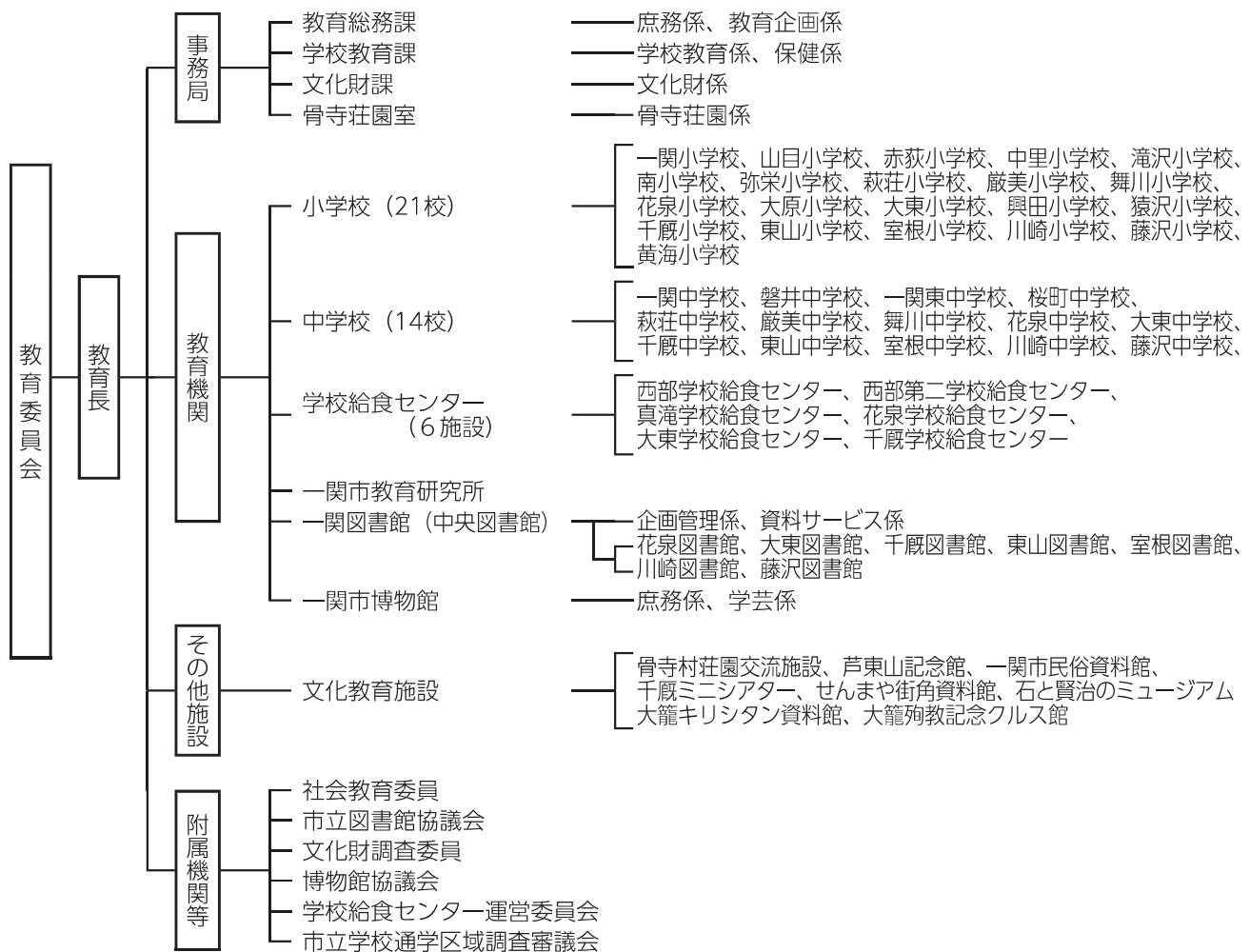


大浪委員

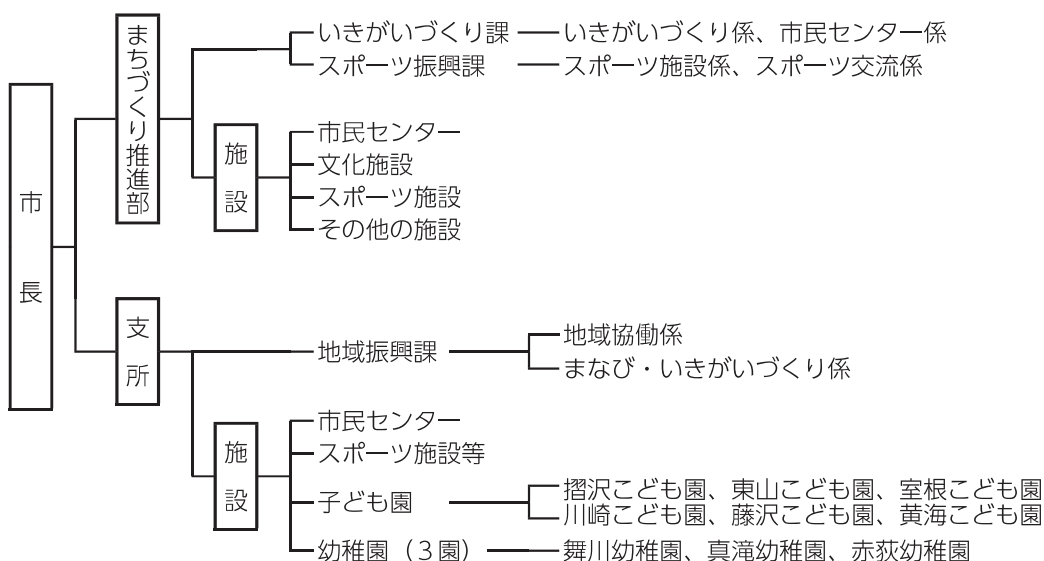
令和7年7月1日現在

職 務	氏 名	委員の任期
教 育 長	時 枝 直 樹	令和8年10月28日
教育長職務代理者	伊 藤 一 志	令和7年10月28日
委 員	佐 藤 一 伯	令和10年10月28日
委 員	桂 島 加 奈 子	令和9年10月28日
委 員	大 浪 友 子	令和8年10月28日

## 2 教育委員会機構図



## 3 市の関係課等



## II 令和7年度教育行政方針

# 学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関のひとづくり

令和7年一関市議会定例会第116回2月通常会議の開会にあたり、令和7年度の教育行政施策について申し上げます。

### 1. はじめに

今日の教育を取り巻く社会環境は、急激に変化してきております。市内の人口減少は進行しておりますが、学校を見ると、令和6年度の中学3年生は830人、小学1年生は589人であり、子どもにおいてより顕著に現れてきております。

この子ども減少の時代にあって、世の中をたくましく生き、地域の未来を切り開く人材の育成は一層重要であり、その使命を教育は担っております。環境や平和など地球的規模の視点で求められる持続可能な社会に向けた考え方、キャリア教育や文化財保護活用など地域にどう関わりどう貢献していくのかの姿勢、特別支援や不登校への多様性を踏まえた個別最適な学びなど、教育の質の向上が一層求められてきております。これらの教育への社会的要請に応え、一関の持続的な発展を支えていくために、子どもたちがふるさと一関に誇りと愛着を持ち、知徳体の資質を兼ね備えた地域を支える人間に成長するよう、生涯学習の機会を充実させながら、教育行政を推進してまいります。

### 2. 重点的に取り組む施策（重点プロジェクト等）

教育振興基本計画後期事業計画の最終年となる令和7年度は、計画の目標に掲げた「学びの風土を礎に心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」、この実現に向けて、四つのプロジェクトを重点としながら、引き続き計画を着実に推進するとともに、取組を総括してまいります。

それでは、四つの重点プロジェクトから、申し上げます。

#### (1) ことばを大切にする教育プロジェクト

一つ目は、「ことばと読書」、「ことばの響き」、「ことばの先人」を柱として、子どもたちに、語彙の豊かさ、ことばの感性、心の豊かさを育むことを目指す「ことばを大切にする教育プロジェクト」であります。

「ことばと読書」については、公立図書館との連携を図りながら、読書の楽しさに触れさせてまいります。

「ことばの響き」については、「ことばの時間」に響きやリズムのよい詩や諺を声に出して読んだり、絵本の読み聞かせを聞いたりすることを通して楽しみながらことばに触れさせてまいります。

小学校では、市が独自に作成した「ことばのテキスト『言海』」を改訂し、児童がことばのリズムや響きを十分に感じながら音読・素読に取り組み、一層の質の向上を目指しながら、ことばの感性を高めてまいります。

「ことばの先人」については、『言海』の先人ページを取り上げること、また、先人を学ぶ授業を行うことにより、郷土の歴史に対する理解を深め、郷土への誇りを育んでまいります。

これらの取組を通して、ことばを大切にしたコミュニケーション能力も高め、子どもたちが望ましい人間関係を構築できるようにしてまいります。

#### (2) グローバル人材育成プロジェクト

二つ目は、グローバル化していく現代社会に対応できる人材の育成を目指す「グローバル人材育成プロジェクト」であります。

キャリア教育については、「地域に学び、地域で育てる」という視点に立って、全ての中学2年生が5

日間の社会体験学習に取り組んでまいります。

また、中学生最先端科学体験研修や小中学生を対象とした英語の森キャンプの実施、外国語指導助手（ALT）の派遣などを進めてまいります。加えて、英語検定料補助を通して、英語の力を高めようとする中学校生徒を支援します。

さらに、GIGAスクール構想に基づき導入したICT機器を有効活用し、情報活用能力を高めます。なお、グローバル化する社会にあっても、本市教育の特色でもある、小学校での「ことば」の学び、中学校での社会体験学習での学びを通して、郷土及び地域を大切にする人材育成を進めてまいります。

### (3) 学校と地域の協働推進プロジェクト

三つ目は、地域とともに歩む学校を目指す「学校と地域の協働推進プロジェクト」であります。

令和6年度から全ての市立小中学校に学校運営支援協議会、いわゆるコミュニティ・スクールを設置し、育てたい子ども像を地域と共有し、学校の支援に向けて協働しております。今後も、学校運営に保護者や地域住民が関わるなど、地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を育む取組を推進してまいります。また、学校の情報や活動の様子をホームページ等で発信してまいります。

### (4) 世界遺産拡張登録推進プロジェクト

四つ目は、骨寺村荘園遺跡の世界文化遺産拡張登録を目指す「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」であります。

「平泉の文化遺産」拡張登録に係る岩手県、奥州市、平泉町との申し合わせのとおり「ひらいずみ遺産」の取組を県、関係市町と連携して進めていくとともに、資産の価値向上に向けた調査研究を継続してまいります。

なお、重要文化的景観「一関本寺の農村景観」保存計画の見直しに向けて、必要な調査を行うとともに、本寺地区の地域づくりについては、地域住民と話し合いながら進め、支援を検討してまいります。

### (5) 教育環境の充実

子どもの数が年々減少している状況にあることから、引き続き保護者や地域の方々へ今後の児童生徒数の推計などを示しながら、学校規模の適正化について考えてまいります。

また、学校施設の老朽化の状況などを踏まえ、より良い教育環境を確保してまいります。

さらに、国が示した第2期GIGAスクール構想を受け、令和8年度のタブレット端末等の更新に向け、準備作業を進めてまいります。

### (6) 学校部活動の地域移行

生徒数の減少や教員の働き方改革などの状況の変化を見据え、望ましい環境を構築し、持続可能な部活動を実現するため、学校部活動の地域移行を推進します。

令和6年度は、4つの部活動が全日型へ、43の部活動が休日型へと移行しており、今後も、環境が整った学校部活動から持続可能な活動へと移行してまいります。

以降については教育行政の具体的な施策について、教育振興基本計画に定める施策の基本方向に沿って申し上げます。

## 3 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

一つ目に「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」について申し上げます。

### (1) 確かな学力の育成

確かな学力の育成については、算数・数学を重点教科に位置づけ、学習支援員の配置をします。また、基礎計算力、集中力を高めるための取組を行い、児童生徒の基礎学力の向上を図ってまいります。併せて、学びを深める事業にも取り組んでまいります。

## (2) 豊かな心の育成

豊かな心の育成については、あらゆる教育活動の土台となるものであり、特別の教科道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて指導にあたってまいります。道徳科の授業では、自己の人間としての生き方について考えられるよう指導を充実してまいります。

このほか、積極的に自然体験、社会体験を取り入れ、SDGsの理念とも関連させながら、福祉やボランティア活動などを通して社会に関わる心構えや姿勢を培ってまいります。

## (3) 健やかな体の育成

健やかな体の育成については、保健面からは、子どもたちがバランスの取れた食事や規則正しい生活など、望ましい生活習慣について考え、実践していく取組を推進してまいります。

運動面からは、体育授業の充実のほか、家庭と協力しながら1日60分以上の運動、いわゆる「60(ろくまる)運動」など、日常的に運動の機会を確保する取組を推進してまいります。

## (4) 学校給食

学校給食については、急激な食材費の高騰に対応するため給食費の改定を行い、地元食材を使用するなど質と栄養価を維持した安全・安心な給食の提供に努めるとともに、望ましい食習慣の形成に向けた食育指導を充実してまいります。

なお、給食費の保護者負担額は据え置き、保護者の負担軽減を図ってまいります。

また、給食の地場産食材を使ったレシピコンテスト、外部講師による指導など、郷土愛を育む事業も引き続き推進してまいります。

## (5) 社会の変化に応じた教育

社会の変化に応じた教育については、職業観・勤労観の育成を図りつつ、地域を知り、地域の方々から学ぶ地域に根差したキャリア教育を、発達段階に応じて推進してまいります。

また、ICT機器を効果的に活用した授業を展開し、児童生徒の確かな学力や、情報活用能力等の資質・能力を育成してまいります。そのために、ICT専門員やICTサポーターによる支援を行い、教員のICT機器活用能力の向上を図ってまいります。

さらに、令和元年度から開催している小学校高学年を対象とした「いちのせきITキッズ育成プロジェクト」事業を引き続き展開し、ICTに関する知識及び技能を身に付け、自分の進路選択や地域社会にかすことのできる人材の育成を進めてまいります。

## (6) 特別支援教育

特別支援教育については、支援を要する子どもの割合が増加傾向にあることから、特別支援に関する研修を充実させ、各学校の教育相談・就学相談体制の充実を図るとともに、特別な支援を要する子どもに対しては、その困難さに寄り添った支援を展開してまいります。

## (7) 不登校対応

不登校については、年間30日以上欠席である不登校児童生徒の割合が年々増加し、その理由や背景は複雑化しております。各学校では家庭との連携を緊密にし、安全・安心な学びの場としての学校づくりを推進していくことを重点に、不登校の未然防止や早期対応の取組を進めてまいります。

また、不登校児童生徒に対しては、状況を踏まえて対応する社会的自立支援員を活用するなど、相談活動を充実させてまいります。

別室登校、タブレットの活用、教育支援センター「たんぼぼ広場」における学習支援と交流体験活動、そして、民間施設との連携も進めてまいります。

さらに、多様な学びの場についての各種相談窓口の周知も進めてまいります。

## (8) いじめ対策

いじめへの対策については、各学校が策定した「いじめ防止基本方針」に基づき組織的に対応していくことを支援し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との情報共有や連携

を強化してまいります。

#### (9) 幼稚園

幼稚園については、幼稚園教育要領で重点とされている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に、小学校との連携を踏まえ、引き続き教育研究に関することについて支援してまいります。

#### (10) 学校安全

日常的には地域ボランティア等の見守り活動の協力をいただきながら、また、熊の出没や地震などの緊急時には、各学校で作成している危機管理マニュアルに則して児童生徒の安全を確保するとともに、感染症の拡大や学校事故の発生など緊急時における対応について指導してまいります。

#### (11) 教職員の働き方改革

教職員の働き方改革については、業務内容の見直しや勤務時間を意識した働き方を進めるなど長時間勤務の是正を図り、授業準備や、個別指導のための時間などを確保するとともに、教職員がワークライフバランスを意識し、いきいきと仕事に向かうことができるよう改善を進めてまいります。

特に、令和6年度から本格稼働した統合型校務支援システムの運用開始により、事務の効率化を図ってまいります。また、教職員の勤務時間の把握により時間外勤務の削減などより一層働きやすい環境づくりを進めてまいります。

### 4 ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進

二つ目に「ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進」について申し上げます。

#### (1) 社会教育

社会教育については、市民が生涯にわたって自ら学ぶことができるよう、ニーズに対応した市民センター等での講座を企画するなど、多様な学習機会を提供してまいります。

また、市民センターでは社会の変化に応じて必要な現代的課題について、テーマに沿った共通取組を実施することとしており、令和7年度も、男女共同参画の推進について、引き続き取り組んでまいります。

さらに、これらの取組や地域づくり活動にいかすため、指定管理を行っている市民センターの職員が社会教育主事講習を受講する際の費用等について支援し、社会教育士の取得を推進してまいります。

#### (2) 家庭教育

家庭教育については、少子化、核家族化、人間関係の希薄化などにより、家庭や地域社会における教育力の低下が指摘されていることから、学校、PTA、地域、企業、行政が連携、協力し、家庭教育講演会などによる学習機会や学習情報の提供を行います。

また、市民センターを中心に家庭教育学級や子育て支援講座などを実施し、家庭でのルール作りやコミュニケーションづくりなど家庭教育を支援してまいります。

#### (3) 図書館

図書館については、市全体の貸出冊数が県内の自治体で最多となっており、多くの方々に利用されているところであります。

令和7年度は一関市立図書館振興計画の最終年度であり、令和8年度から始める新たな計画策定を進めます。

引き続き、図書の企画展や講座、本の検索や調査への支援、学校図書館への支援や、乳幼児に対する読み聞かせを行うなど図書館サービスに努めてまいります。

さらに、移動図書館車によるサービスを新たに室根、藤沢地域への試行運転を行う計画であり、館外サービスにも力を入れて取り組んでまいります。

今後も、市内8館が地域の特色をいかした図書館サービスの向上に努めるとともに、電子書籍やオンラインデータベースなどによる読書環境のさらなる充実に努め、市民が集う地域の情報拠点としての役割を一層高めてまいります。

#### (4) 博物館

博物館については、市民はもとより、周辺市町村をはじめとして全国各地からの入館者があり、当地方における歴史や文化に対する関心の高さがみられることから、更なる運営の充実に努めてまいります。

令和7年度は当市を代表する和算家・千葉胤秀の生誕250年の節目の年であることから、和算に関する特別展などの展覧会の開催のほか、各種講座、体験学習など事業の充実に努めてまいります。

また、重要文化財の大槻家関係資料については、引き続き修復を行ってまいります。

併せて、芦東山記念館、民俗資料館、石と賢治のミュージアム及び大籠キリシタン殉教公園についても、企画・展示の充実を図るなど、身近な場所で地域の歴史・文化が学べる場を提供してまいります。

### 5 誇りと愛着を醸成する文化の継承

三つ目に「誇りと愛着を醸成する文化の継承」について申し上げます。

#### (1) 文化財の保護

文化財については、歴史や文化の調査研究を進めるとともに、修繕や保護活動への助成等により、地域の文化財を良好な形で後世に伝えてまいります。

また、市の広報誌などを活用した情報発信や標柱解説板整備を継続的に行い、地域の財産である文化財への理解促進と保護意識の啓発に努めてまいります。

#### (2) 地域文化の伝承

地域文化の伝承については、民俗芸能の調査研究を進めるとともに、後継者育成支援や活動状況の映像記録、保存を継続的に行い、継承活動を支援してまいります。

また、地域ゆかりの偉人、先人たちの調査研究を進めるとともに、ふるさとの意識の高揚を図り、身近に学ぶことができるよう機会の提供を図ります。

### 6 おわりに

以上、令和7年度の教育行政施策の概要を申し上げましたが、これらは、一関市教育振興基本計画後期事業計画に基づいて計画的に進めるものであります。

現在進めている施策や業務については、スクラップアンドビルドの原則に立ち、より効果的で真に必要なものに精選していく、不断の見直しの視点も大切にしております。

また、各施策の推進にあたっては、学校、家庭、地域、企業、行政が共通理解のもと、当市の教育行政に携わる全ての関係者の連携・協働が必要であります。

教育委員会といたしましては、地域資源をいかした教育行政施策を進め、郷土の誇りを未来に引き継ぎ、新たな創造を加えてまいりたいと考えておりますので、議員各位並びに市民、教育関係者の皆さまのご理解、ご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。

### Ⅲ 教育財政

#### 1 令和7年度一関市一般会計当初予算

##### (1) 歳入

款	予算額	構成比
1 市 税	12,893,986	18.84
2 地方譲与税	1,123,465	1.64
3 利子割交付金	3,708	0.01
4 配当割交付金	28,232	0.04
5 株式等譲渡所得割交付金	21,423	0.03
6 法人事業税交付金	205,138	0.30
7 地方消費税交付金	3,059,972	4.47
8 ゴルフ場利用税交付金	12,167	0.02
9 環境性能割交付金	67,513	0.10
10 地方特例金交付金	87,404	0.13
11 地方交付税	24,787,516	36.21
12 交通安全対策特別交付金	12,861	0.02
13 分担金及び負担金	231,947	0.34
14 使用料及び手数料	312,907	0.46
15 国庫支出金	7,251,664	10.60
16 県支出金	5,223,729	7.63
17 財産収入	645,618	0.94
18 寄附金	1,502,000	2.19
19 繰入金	4,758,637	6.95
20 繰越金	1	0.00
21 諸収入	1,082,323	1.59
22 市債	5,138,100	7.51
歳入合計	68,450,311	100.0

##### (2) 歳出

款	予算額	構成比
1 議会費	316,153	0.46
2 総務費	12,776,399	18.67
3 民生費	20,157,481	29.45
4 衛生費	5,892,022	8.61
5 労働費	154,536	0.23
6 農林水産業費	5,105,083	7.46
7 商工費	2,031,628	2.97
8 土木費	6,093,883	8.90
9 消防費	2,981,919	4.36
10 教育費	4,648,520	6.79
11 災害復旧費	2	0.00
12 公債費	8,242,616	12.04
13 諸支出金	69	0.00
14 予備費	50,000	0.07
歳出合計	68,450,311	100.0

## 2 教育費の内訳

(令和7年度当初予算)

内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳 (単位：千円)	
教育総務費	630,747	13.6	○教育委員会費（特別職給与費、教育委員会運営費、全国都市教育長協議会負担金、東北都市教育長協議会負担金、岩手県市町村教育委員会協議会負担金）	18,095
			○事務局費（職員給与費、教育委員会事務局運営費、奨学金貸付事業費、児童・生徒・学生顕彰事業費、県職員派遣費負担金、岩手県安全運転管理者部会連合会負担金、安全運転管理者事業主会負担金、私立高等学校生徒学費補助金、下宿等費用補助金、学生寮整備事業費補助金、一関市学校保健会補助金、私立学校運営費補助金、学校施設財産処分積立基金積立金）	348,543
			○教育研究所費（会計年度任用職員給与費、学力実態調査事業費、教育研究事業費、教育研究所連盟負担金）	31,750
			○教育指導費（会計年度任用職員給与費、ことばの力を育てる教育推進事業費、教育指導事業費、外国語指導助手配置事業費、中学生の社会体験学習事業費、特別支援教育推進事業費、幼児ことばの教室事業費、障がい児就学支援事業費、学校不適応対策支援事業費、市内幼小中高特高専大大学校運営推進事業費、中学生最先端科学体験研修事業費、命をつなぐプロジェクト事業費、学びの活性化事業費、いじめ問題対策事業費、日本学校教育学会学力向上支援事業費、いちのせきITキッズ育成プロジェクト事業費、一関地方教育推進協議会負担金、一関生徒指導推進協議会負担金、岩手県特別支援教育研究会負担金、岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究会負担金）	232,359
小学校費	1,143,344	24.6	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金）	774,298
			○教育振興費（教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、小学校体育連盟補助金）	186,936
			○学校建設費（一関小学校整備事業費）	182,110
中学校	691,298	14.9	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金）	471,528
			○教育振興費（教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、地域部活動支援補助金、中学校文化活動補助金、英語検定料助成金、中学校文化連盟補助金、中学校体育連盟補助金）	219,770

内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳 (単位：千円)
幼稚園	180,018	3.9	○幼稚園費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、幼稚園運営事業費、実費徴収補足給付費、日本スポーツ振興センター負担金、岩手県国公立幼稚園・こども園協議会負担金、一関地区公立幼稚園研究協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金） 180,018
学校給食センター費	1,135,604	24.4	○学校給食センター費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、学校給食センター運営費、郷土愛を育む食育交流事業費、公共施設等総合管理計画推進費、岩手県学校給食センター協議会負担金） 1,135,604
社会教育費	867,509	18.8	○社会教育総務費（職員給与費、青少年健全育成事業費、英語の森キャンプ事業費、二十歳のつどい開催費、学校施設開放事業費、地域学校協働活動事業費、岩手県社会教育連絡協議会負担金、教育振興運動実践活動補助金、社会教育関係団体活動費補助金、女性団体活動費補助金、キャンプ場開き開催補助金、ユネスコ協会活動費補助金、一般事務費） 288,930
			○文化財保護費（会計年度任用職員給与費、一般文化財費、埋蔵文化財費、文化財保存管理費、民俗芸能伝承記録保存事業費、骨寺村荘園遺跡調査研究事業費、文化的景観保護推進事業費、骨寺村荘園遺跡保全活用事業費、文化財標柱・解説板整備事業費、本寺地区地域活動支援事業費、ときめき世界遺産塾負担金、全国史跡整備市町村協議会負担金、全国文化的景観地区連絡協議会負担金、全国近代化遺産活用連絡協議会負担金、全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会負担金、岩手県文化財愛護協会負担金、岩手県史跡整備市町村協議会負担金、指定文化財保護事業補助金、郷土芸能活動事業補助金） 85,736
			○図書館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、運営事業費、巡回文庫費、図書館資料整備事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本図書館協会負担金、岩手県図書館協会負担金、岩手県統計協会負担金、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会負担金） 285,721
			○博物館費（会計年度任用職員給与費、資料関係費、展示費、調査研究費、交流連携費、運営事業費、施設管理費、特別展示費、古文書等資料調査費、骨寺村荘園調査研究費、大槻家資料保存活用事業費、展示解説多言語化事業費、民俗資料館運営事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本博物館協会負担金、全国美術館会議負担金、東北史学会負担金、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 157,004
			○石と賢治のミュージアム費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 16,620
			○芦東山記念館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、調査研究費、公共施設等総合管理計画推進費、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 21,437
			○大籠キリシタン殉教公園費（施設管理運営費、公共施設等総合管理計画推進費） 12,061
計	4,648,520	100	

### 3 学校の校地、建物の面積と教室数

令和7年5月1日現在

区 分	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教 室 数			
	建物敷地	屋 外 運動場	その他	計	校 舎	屋 内 運動場	計	柔道場	普通 教室	特別 教室	計	
小 学 校	1 一 関	9,119	11,415	1,640	22,174	5,434	969	6,403	0	25	9	34
	2 山 目	8,095	14,247	5,663	28,005	7,015	1,363	8,378	0	17	11	28
	3 赤 荻	6,300	7,333	1,153	14,786	2,737	963	3,700	0	13	7	20
	4 中 里	6,063	3,091	3,825	12,979	2,754	895	3,649	0	8	7	15
	5 滝 沢	7,590	15,613	10,945	34,148	2,735	828	3,563	0	8	8	16
	6 南	8,199	7,840	2,522	18,561	6,418	1,258	7,676	0	14	11	25
	7 弥 栄	7,182	9,600	6,219	23,001	2,104	803	2,907	0	6	5	11
	8 萩 荘	14,332	11,551	14,688	40,571	5,971	1,289	7,260	0	15	10	25
	9 巖 美	4,456	4,668	2,329	11,453	2,109	696	2,805	0	9	6	15
	10 舞 川	10,971	10,727	21,249	42,947	2,699	825	3,524	0	9	6	15
	11 花 泉	21,203	11,450	5,291	37,944	6,237	1,245	7,482	0	22	8	30
	12 大 原	7,553	9,306	3,226	20,085	3,515	1,019	4,534	0	9	6	15
	13 大 東	8,348	12,600	4,405	25,353	4,121	1,076	5,197	0	11	7	18
	14 興 田	5,762	17,955	5,532	29,249	3,387	1,022	4,409	0	7	7	14
	15 猿 沢	4,417	5,773	626	10,816	2,218	720	2,938	0	6	7	13
	16 千 厩	23,232	18,353	9,914	51,499	6,014	1,251	7,265	0	17	8	25
	17 東 山	9,651	10,790	7,525	27,966	5,075	1,186	6,261	0	9	5	14
	18 室 根	5,500	9,573	4,539	19,612	3,546	922	4,468	0	6	8	14
	19 川 崎	4,948	4,315	14,245	23,508	2,565	702	3,267	0	8	6	14
	20 藤 沢	14,591	4,800	1,528	20,919	4,723	1,127	5,850	226	9	8	17
	21 黄 海	3,186	3,335	7,551	14,072	2,762	750	3,512	0	6	6	12
計	190,698	204,335	134,615	529,648	84,139	20,909	105,048	226	234	156	390	

区 分		校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教 室 数			
		建物敷地	屋 外 運動場	その他	計	校 舎	屋 内 運動場	計	柔道場	普通 教室	特別 教室	計	
中 学 校	1 一 関	15,110	19,037	28,921	63,068	3,965	1,237	5,202	448	9	14	23	
	2 磐 井	12,340	12,441	14,444	39,225	7,424	1,460	8,884	448	20	13	33	
	3 一関東	9,690	20,003	5,353	35,046	2,977	1,222	4,199	0	4	10	14	
	4 桜 町	14,890	9,086	1,014	24,990	4,386	1,237	5,623	0	13	12	25	
	5 萩 荘	5,330	15,585	7,528	28,443	3,132	1,189	4,321	0	8	11	19	
	6 巖 美	6,736	11,650		18,386	2,901	1,162	4,063	0	4	10	14	
	7 舞 川	5,569	8,527	8,728	22,824	1,791	858	2,649	0	5	8	13	
				借 205	借 205								
	8 花 泉	19,421	16,050	2,833	38,304	6,265	1,653	7,918	651	12	15	27	
	9 大 東	11,372	16,207	18,541	46,120	4,483	1,428	5,911	0	11	15	26	
	10 千 厩	14,400	13,300	17,085	44,785	5,887	1,337	7,224	588	11	13	24	
				借 1,410	借 1,410								
	12 東 山	14,602	12,586	20,420	47,608	3,597	1,202	4,799	417	8	13	21	
	13 室 根	9,766	11,701	4,058	25,525	3,832	1,125	4,957	427	7	12	19	
	14 川 崎	11,703	23,433	14,269	49,405	3,080	1,214	4,294	400	5	8	13	
		借 5,457	借 5,457										
15 藤 沢	12,017	20,726	1,166	33,909	3,759	1,155	4,914	357	9	12	21		
計	162,946	210,332	144,360	517,638	57,479	17,479	74,958	3,736	126	166	292		
		借 5,457	借 1,615	借 7,072									
幼 稚 園 ・ こ じ ゃ ん が ん 園	1 舞 川	1,400	1,650	2,066	5,116	621		621		3		3	
	2 真 滝	1,743	2,032	862	4,637	624		624		3		3	
	3 赤 萩	960	1,517		2,477	505		505		3		3	
	4 摺 沢	2,125	2,000		4,125	835		835		3		3	
	5 東 山	3,398	2,670	218	6,286	1,297		1,297		3		3	
	6 室 根	904	1,830	2,510	5,244	922		922		3		3	
	7 川 崎	3,954	379		4,333	695		695		3		3	
	8 藤 沢	3,249	2,132	1,624	7,005	1,559		1,559		3		3	
	9 黄 海	3,105	1,331	293	4,729	889		889		3		3	
	計	20,838	15,541	7,573	43,952	7,947		7,947		27		27	

学 校 教 育



# 一関市学校教育の基本構想

## 日本国憲法

### 教育基本法 学校教育法 学習指導要領

#### いわて県民計画

学びや人づくりによって、  
将来に向かって可能性を伸ばし、  
自分の夢を実現できる岩手

- 【知育】児童生徒の確かな学力を育む
- 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育む
- 【体育】児童生徒の健やかな体を育む
- 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
- いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校づくり
- 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教委職員の資質の向上
- 多様なニーズに応じた特色ある私学教育の充実
- 地域に貢献する人材の育成
- 文化芸術・スポーツを担う人材の育成
- 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくり

#### 一関市教育振興基本計画

＜基本目標＞  
学びの風土を礎に、心豊かにたくましく  
郷土の誇りを未来につなぐ  
一関の人づくり

- （施策の基本方向）
- 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実
  - ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進
  - 誇りと愛着を醸成する文化の継承

#### 一関市学校教育基本方針

- 1 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。
- 2 たくましく心豊かに生きる幼児・児童・生徒を育成する。
- 3 幼児・児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。

#### 岩手県学校教育が目指すもの （「これからの岩手の義務教育」「学校教育指導指針」）

- 「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する能力を育てる「人間形成」

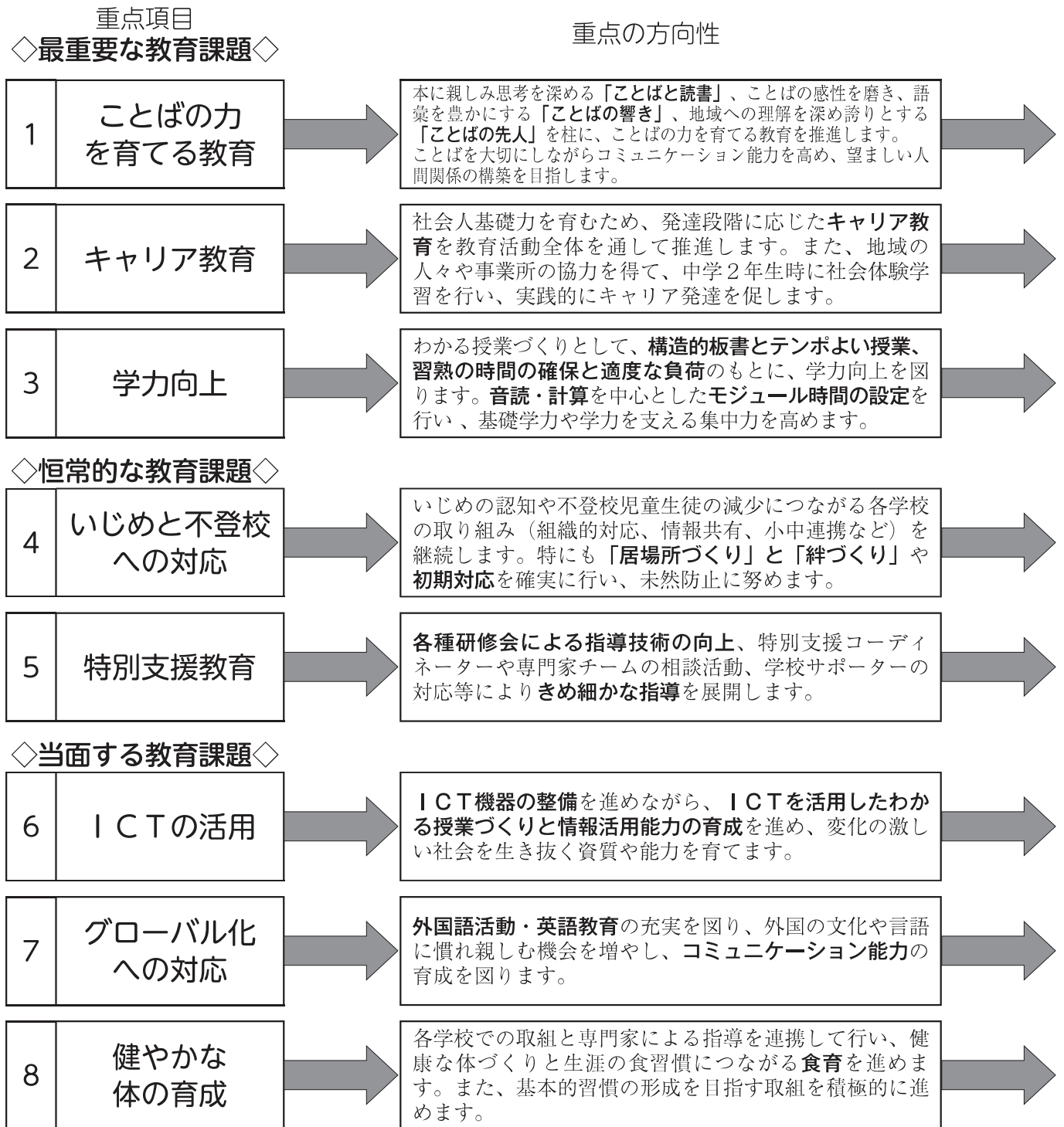
#### 一関市学校教育の課題

- 確かな学力を育む教育の推進
- 豊かな心を育む教育の推進
- 健やかな体を育む教育の推進
- 社会の変化に対応した教育の推進
- 自立して生きる力を支援する教育の推進

# I 令和7年度 学校教育行政の方針及び指導の重点

R7.4.1

## 教育振興の基本目標 「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 施策の基本方向



### 働き方改革

- ・出勤後からの在校等時間計測による、ワークライフバランス
- ・部活動の在り方に関する方針に基づく、部活動指導員の配
- ・地域部活動や地域スポーツクラブへの移行による、地域と
- ・統合型校務支援システム活用による、事務の効率化及び教

# 郷土の誇りを未来に繋ぐ 一関の人づくり」

## 「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」

H28～R7

キーワード・具体策・新規事業等

一関市学校教育  
基本方針

- ・読書普及員の配置と学校図書館の充実、市立図書館との連携、読書活動の充実
- ・「言海」の第4版を活用した全小学校における「ことばの時間」での素読の推進
- ・全幼稚園、こども園、保育園における「ことばの時間」の実施
- ・ことばの先人出前講座の実施とことばのテキスト「言海」の先人ページの活用

- ・地域とつながる学習環境の充実（学校運営支援協議会）
- ・キャリアパスポートを活用した成長の自覚
- ・全中学校2年生の5日間の社会体験学習の実施、社会体験リーフレットの作成
- ・キャリア教育シンポジウムの開催

- ・モジュール時間の有効活用による基礎力の定着と集中力の育成
- ・算数・数学を中心とした研修会、学びを深化する機会の設定
- ・指導主事や学習指導専門員の訪問指導や拡大校内研による授業力の向上
- ・授業改善パンフレットの活用による日常の授業の充実

- ・いじめ防止基本方針の見直しと早期発見、情報共有と積極的認知
- ・「居場所づくり」と「絆づくり」による新規不登校者の抑制
- ・教育支援センターたんぼぼ広場の活用 ・社会的自立支援員の配置
- ・教育相談員による学校訪問指導

- ・特別支援に関する各種研修会と相談会の開催
- ・市特別支援コーディネーター・専門家チームの学校訪問、WISC検査者の養成・研修
- ・幼児期ことばの教室（3教室）
- ・必要な支援に応じた適切な就学相談の実施

- ・タブレット及び大型提示装置の活用促進（授業での効果的な活用、入力スキルの向上）
- ・統合型校務支援システムの本格運用
- ・6グループでのICT推進共同実施、ICT専門員、ICTサポーター配置
- ・学校ホームページによる情報発信

- ・小中学校・幼稚園・こども園への10名のALTの派遣
- ・英語検定取得を奨励することによる中学生の英語力の向上（検定料助成）
- ・中学生最先端科学体験研修事業の実施
- ・英語の森キャンプ（いきがいづくり課）、外国籍児童生徒の就学対応

- ・60運動の推奨
- ・食育事業の推進と食に関する情報発信
- ・家庭でのスマホ・ゲーム機等のルールの普及（居間8ルール、居間9ルール）
- ・地域部活動への移行の推進

スを意識した業務推進（月45時間以内、残業20時以前とする取組）  
置や適切な指導体制の充実  
連携した持続可能な活動体制の構築  
員が教育活動に集中できる環境の整備



〇〇〇

児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。  
たくましく心豊かに生きる児童・生徒を育成する。  
社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。

## II 幼稚園教育の方針及び重点

### 1 方 針

幼児一人一人の資質・能力を育んでいくよう、家庭や地域社会と協力して教育活動のさらなる充実を図り、小学校以降の学校教育の基盤を培う幼稚園教育の推進に努める。

### 2 重 点

#### 創意工夫を凝らした特色ある幼稚園経営

- ◆創意工夫を凝らした教育課程
- ◆評価

◇幼稚園教育要領に基づき、幼稚園の特性に応じた教育目標を明確にし、運動や表現、**創意工夫を凝らした教育課程**を編成する。  
◇教育目標の実現に向け、教育課程の実施状況を**評価**し、更なる充実に向けた改善を図る。

#### 小学校教育との円滑な接続

- ◆小学校との共有、引き継ぎ

◇小学校教師と、「育みたい資質・能力」及び「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を共有して架け橋期のカリキュラム作成に取り組むとともに、拡大園内研及び、合同研修の機会を通じて理解を深め、小学校教育との**円滑な接続**を図る。

#### ことばの力を育てる教育の推進

- ◆読み聞かせ
- ◆ことばの時間
- ◆立腰

◇**読み聞かせ**をとおし、想像する楽しさを味わう活動の充実を図る。  
◇ことばの響きやリズムを感性として取り込む「**ことばの時間**」を推進する。  
◇**立腰（腰骨を立てる活動）**を位置付け、集中力や耐性を育む機会を設け、自立心の育成を図る。

#### 家庭や地域社会との連携

- ◆家庭や地域社会との連携
- ◆豊かな体験

◇幼児の様子や子育てに関する情報交換や保育参観などを通じ、幼児期の教育に関する理解が深まるよう**連携**を推進する。  
◇幼児の心を揺り動かすような**豊かな体験**が得られる機会を積極的に設ける。

#### 保育ニーズへの対応と認定こども園への移行

- ◆保育ニーズへの対応
- ◆認定こども園移行に向けた検討

◇保護者の要望や園の実情に応じて、預かり保育サービスや特別な支援を要する幼児の保育など、**保育ニーズへの対応**に努める。  
◇地域の実情を踏まえ、必要によって**認定こども園への移行**を図る。

#### 教職員の資質・能力の向上

- ◆研修への積極的参加

◇教師の専門的な資質と能力を高める**合理的、効果的な研修の充実**を図る

### Ⅲ 学校教育関係事業

#### 1 重点課題・事業等について

##### (1) 児童生徒の学力向上

① わかる授業づくりに向けた取り組み

- ・資質・能力向上取組
- ・算数・数学学力向上事業
- ・拡大校内研の実施
- ・授業改善パンフレットの活用

② 各校における学力・能力向上取組への取組

- ・小学校…「読み」「書き」「計算」 中学校…「計算力」「漢字力」「英語基本文暗唱」  
※小・中「計算（百ます）」は学校体制によるモジュールで取組む
- ・諸調査に基づいた検証改善サイクルの構築（課題の洗い出しと焦点化した目標の設定、校内体制整備と授業改善）

ア 知能検査（小2、小5、中1）	4月7日～4月25日
イ CRT（小1～小6の国・算）	12月2日～12月12日
ウ 全国学力学習状況調査（小6、中3の国、算・数、質問紙）	4月17日
エ 中学校新入生学習状況調査（中1の国数、質問紙）	4月17日
オ 県学習定着度状況調査（小5の国算、中2の英数、質問紙）	10月1日
カ 英検I B A（中1の英）	標準検査日 1月20日

③ 生活習慣及び学習習慣の形成に向けた取り組み

授業と連動した家庭学習の充実、家庭学習時間の確保に努める。

④ 学習指導専門員、ICT専門員の活用と学習支援員による添削指導、補充指導、個別指導の充実

⑤ 「学びの深化」プロジェクト

地域における施設や人材による、文理の枠を超えた教科横断的な講義を通して「深い学び」の実現を図る。

##### (2) ことばの力を育てる教育の推進

① ことばと読書

- ・学校図書館の充実と市立図書館（8館）との連携などにより、児童生徒の自主的、自発的な読書活動を充実させ、思考力・想像力などを豊かにする。

ア 全小中学校共通の学校図書館システムの導入と構築

イ 読書普及員の活用

ウ 読書活動の充実

- ・絵本給食の実施

② ことばの響き

- ・音読・素読などの取組を通して語彙を豊かにし、ことばの感性を磨く。

ア 音読・素読などのことばの響きやリズムを楽しむ取組の推進の充実

イ ことばの時間の実施

ウ ことばのテキスト「言海」（第4版）の活用

③ ことばの先人

- ・ことばを通して人々に影響を与えた先人について学ぶことを通して、地域への誇りと愛着心を育む。
- ア ことばのテキストの活用
- イ 小学校における「ことばの先人出前講座」の開催（希望校）

(3) **キャリア教育の推進**

① 中学生の社会体験学習

- ・市内の中学2年生全員を対象とした、原則5日間の社会体験（事業所等での活動）

② 一関市キャリア教育シンポジウム

- ・事例発表、講演・パネルディスカッション等

③ 中学生最先端科学研修

- ・市内中学校の第3学年在学生徒50名を茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構等へ派遣
- ・事前研（7月12日）、最先端研修（7月28日～30日）、事後研（8月28日）

(4) **特別支援教育の充実**

① 特別支援教育

- ・一関市特別支援コーディネーターによる巡回・教育相談、専門家チームによる検査及びカンファレンス、学校サポーターの配置による各校の取組支援
- ・特別支援に係る各種研修会の開催

② 就学支援

- ・就学予定者及び児童生徒の特性に応じた適切な教育が受けられる就学支援
- ア 校内就学支援委員会での状況確認、保護者との就学相談
- イ 市就学支援委員会、市就学支援調査員会議による協議、就学意見のまとめ

(5) **いじめと不登校への対応**

① いじめ見逃しゼロに向けた取組 —未然防止・早期発見・早期対応—

- ・未然防止
- ア 教科指導、道徳、特別活動等の充実や児童生徒の主体的な活動「絆づくり」「居場所づくり」の推進による、いじめに向かわせない態度・能力の育成
- イ いじめの背景にあるストレス要因の把握・改善など、いじめ加害に影響する要因の改善
- ・早期発見
- ア 校内の生徒指導体制に係る教職員の共通理解、児童生徒の観察や定期的なアンケート調査、教育相談の実施等による組織的な対応
- イ 家庭・地域、関係機関等との連携
- ・早期対応
- ア いじめの積極的認知を推進やいじめ解決の要件に基づく確認の徹底等、「学校いじめ防止基本方針」に基づいた組織的な対応
- イ 家庭や地域、関係機関等と連携

② 不登校の減少に向けた取組 —未然防止・早期対応—

- ・未然防止
- ア 自己存在感や充実感、自己有用感を感じ取れる場や機会づくり（「絆づくり」と「居場所づくり」）

くり」)

イ 過年度の欠席状況の把握や、行事や長期休業後の児童生徒の観察等、不登校の特徴を捉えた指導の充実

ウ 中1ギャップを埋めるための各学校の状況に合わせた工夫

・早期対応

ア 連続して欠席した際の速やかな対応と保護者との関係づくり

イ 教育支援センター（たんぼぼ広場）の活用等、不登校・学校不適応児童生徒への支援

ウ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談員、社会的自立支援員の配置と関係機関（福祉、医療機関、警察、児童相談所等）との連携

## (6) 復興教育・防災教育の推進

① 学校防災アドバイザー派遣事業

5月1日～2月6日

・防災に関する専門家による、「学校危機管理マニュアル」や避難訓練など学校の防災体制に対する助言をはじめ、学校と家庭・地域の連携体制の構築への助言、安全教育のあり方への指導・助言

② 防災教育の推進

・防災教育に係る学校訪問（「学校の『危機管理マニュアル』等の評価、見直しガイドライン」の活用と危機管理マニュアルの見直し）

③ 一関市通学路安全推進連絡協議会「通学路交通安全プログラム」の実施

・要対策箇所における進捗状況の確認及び追加案件の確認  
・工事・安全指導等による対策の実施

## (7) グローバル化への対応

① 国際理解教育・英語教育の充実に向けたALTの活用

・外国語指導助手学校訪問事業（直接雇用3名、派遣契約7名での学校訪問配置）  
・スーパーバイザーALTの配置（ALT NEWSの発行、外国語教育に係る研修の計画と実施）

② 授業力向上に向けて

・小・中をつなぐ外国語教育推進研修会の実施  
・ALT研修会の実施（7月11日）

## (8) 食育の推進

① 食に関する事業

ア 食育担当者研修会(希望制)

イ 絵本給食

ウ 給食レシピコンテスト

② 学校における食に関する指導

・全小中学校における栄養教諭・学校栄養職員と連携した食に関する指導の充実  
・給食時間の活用  
・家庭・地域・関係機関との連携による望ましい食習慣形成の推進

## (9) ICTの活用

① ICT環境の整備（児童生徒1人1台タブレット端末の活用、電子黒板及び短焦点型プロジェクタの活用、デジタル教科書の導入、クラウド版統合型校務支援システムの運用、Google Work spaceの

運用)

- ② ICTの特性を活かし効率よく学びを深められる授業づくりの実践
- ③ 6班でのICT推進共同実施による学校間連携
- ④ ICT専門員、ICTサポーターの配置

## 2 市教育委員会指定研究校等について

### (1) 令和7年度学校公開園、公開校

- |         |                  |               |
|---------|------------------|---------------|
| ① 花泉小学校 | ○令和6・7年度（教育課程一般） | 公開日 10月8日（水）  |
| ② 千厩小学校 | ○令和6・7年度（教育課程一般） | 公開日 11月18日（火） |
| ③ 大東中学校 | ○令和6・7年度（教育課程一般） | 公開日 11月21日（金） |

### (2) 令和7・8年度指定校

- ① 舞川小学校（算数）
- ② 川崎小学校（算数）
- ③ 花泉中学校（キャリア教育）

## 3 総合訪問

### (1) 訪問の趣旨

一関市学校教育基本方針、学校教育活動の現状や課題を相互に理解し、教育課程の実施及び管理上の問題や課題解決について意見交換を図り、その解決に努めるとともに、市の教育の向上に資する。

### (2) 訪問の視点

- ① 教育課程の編成と実施状況に関すること
- ② 校内研究・校内研修、生徒指導の充実に関すること
- ③ 庶務関係の処理状況に関すること

### (3) 訪問校及び期日

- |         |          |
|---------|----------|
| ① 一関小学校 | 9月29日（月） |
| ② 大原小学校 | 10月2日（木） |
| ③ 川崎中学校 | 7月3日（木）  |

## 4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会

一関市内に設置されている公立私立幼稚園から大学までの学校園長が一堂に会し、それぞれの諸問題について情報交換を行うとともに、共通の課題を明らかにし、その解決方策と将来展望を研究協議することにより、幼・小・中・高・特・高専・大学の一貫した望ましい学校教育の推進体制を明らかにする。

- (1) 第1回運営推進協議会（磐井中学校） 7月2日（水）
- (2) 第2回運営推進協議会（講演会） 12月3日（水）
- (3) 運営委員会 第1回 5月13日（火） 第2回 10月10日（金）

## IV 市内各学校（園）の概要

### 1 児童生徒数・学級数・教職員数（令和7年5月1日現在）

#### 〈小学校〉

学校名	へき地級地数	学級数	児童・生徒数								特学(再掲)		教職員計	県費教職員							市職員用務員
			計	1	2	3	4	5	6	学級数	児童生徒数	校長		副校長	教諭等	養護教諭等	栄養教諭	学校栄養職員等	事務職員等	常勤講師等	
一関小学校		25	576	79	92	100	91	119	95	6	34	38	1	1	26	1	0	2	5	2	
山目小学校		19	435	65	67	73	90	66	74	6	34	37	1	1	24	1	0	2	6	2	
赤荻小学校		13	247	32	35	40	48	48	44	3	14	20	1	1	13	1	0	1	2	1	
中里小学校		8	164	27	21	30	23	31	32	2	11	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
滝沢小学校		8	120	13	22	19	25	23	18	2	7	14	1	1	9	1	0	1	0	1	
南小学校		14	294	43	42	39	68	48	54	3	17	24	1	1	17	1	0	1	2	1	
弥栄小学校		6	38	4	7	5	6	8	8	2	2	11	1	1	5	1	0	1	1	1	
萩荘小学校		15	291	38	45	44	47	56	61	4	19	24	1	1	14	1	2	1	3	1	
巖美小学校		8	79	7	13	11	10	15	23	2	5	13	1	1	8	1	0	1	0	1	
舞川小学校		9	72	13	12	14	10	11	12	3	7	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
花泉小学校		24	463	77	69	78	76	77	86	8	35	38	1	1	27	1	0	1	5	2	
大原小学校		9	81	10	12	12	18	17	12	3	5	16	1	1	7	1	0	1	4	1	
大東小学校		10	164	19	21	20	33	33	38	3	13	18	1	1	10	1	0	1	3	1	
興田小学校	準	7	56	7	9	6	13	8	13	2	5	12	1	1	7	1	0	1	0	1	
猿沢小学校		6	46	7	6	5	10	6	12	2	3	13	1	1	5	1	0	1	3	1	
千厩小学校		17	324	47	56	46	57	61	57	5	21	26	1	1	18	1	0	1	3	1	
東山小学校		8	177	25	25	34	36	23	34	2	11	16	1	1	10	1	0	1	1	1	
室根小学校		8	130	16	18	24	22	25	25	2	3	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
川崎小学校		8	117	13	20	16	25	18	25	2	11	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
藤沢小学校		9	156	23	18	34	31	20	30	3	8	18	1	1	10	1	0	1	3	1	
黄海小学校		6	58	8	5	10	11	9	15	1	1	12	1	1	5	1	0	1	2	1	
小学校計		237	4,088	573	615	660	750	722	768	66	266	410	21	21	251	21	2	23	47	24	

〈中学校〉

学校名	へき地級地数	学級数	児童・生徒数						特学(再掲)		教職員計	県費教職員							市職員 用務員	
			計	1	2	3	4	5	6	学級数		児童生徒数	校長	副校長	教諭等	養護教諭等	栄養教諭	学校栄養職員等		事務職員等
一関中学校		8	180	59	52	69				2	9	25	1	1	13	1	0	2	6	1
磐井中学校		20	456	145	159	152				6	31	39	1	1	29	2	0	1	3	2
一関東中学校		3	87	35	17	35				0	0	14	1	1	5	1	1	1	3	1
桜町中学校		12	276	89	90	97				3	15	25	1	1	19	1	0	1	1	1
萩荘中学校		8	176	54	56	66				2	6	19	1	1	13	1	1	1	0	1
厳美中学校		4	45	15	15	15				1	1	13	1	1	7	1	0	1	1	1
舞川中学校		5	42	11	14	17				2	4	15	1	1	6	1	0	1	4	1
花泉中学校		13	272	80	89	103				5	20	28	1	1	19	1	1	1	3	1
大東中学校		10	206	58	75	73				3	13	22	1	1	15	1	1	1	1	1
千厩中学校		11	209	58	75	76				3	9	25	1	1	16	1	1	1	3	1
東山中学校		8	117	40	38	39				2	3	19	1	1	12	1	0	1	2	1
室根中学校		4	70	28	21	21				1	1	13	1	1	7	1	0	1	1	1
川崎中学校		5	53	18	19	16				2	3	14	1	1	7	1	0	1	2	1
藤沢中学校		9	147	47	50	50				3	8	20	1	1	13	1	0	1	2	1
中学校計		120	2,336	737	770	829				35	123	291	14	14	181	15	5	15	32	15
一関第一高等学校 附属中学校		6	209	70	70	69				0	0	20	1	1	16	1	0	1	0	0

※ 養護教諭等には養護助教諭を含む。

※ 事務職員には加配を含む。

〈高等学校〉

学校名	本務教員数		本務教員数		科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	男	女
(県立) 一関第一 高等学校	校長、副校長、教諭	45	事務	5	普通科	8	308		159	149		128	180
	養護教諭	1	実習教諭	2	理数科	2	53		23	30		27	26
	講師	2	その他	1	普通・理数科	5	200	200				95	105
	計	48	計	8	計	15	561	200	182	179		250	311
(県立) 一関第二 高等学校	校長、副校長、教諭	41	事務	5	総合学科	15	593	202	198	193		265	328
	養護教諭	1	実習教諭	5									
	講師	9	その他	5									
計	51	計	15	合計	15	593	202	198	193		265	328	
(県立) 一関工業 高等学校	校長、副校長、教諭	29	事務	7	電気電子科	3	103	38	29	36		98	5
	養護教諭	1	実習教諭	6	電子機械科	3	112	40	32	40		106	6
	講師	4	その他	4	土木科	3	76	19	34	23		69	7
	計	34	計	17	合計	9	291	97	95	99		273	18
(県立) 花泉高 等学校	校長、副校長、教諭	13	事務	3	普通科	3	94	40	28	26		49	45
	養護教諭	1	実習教諭	0									
	講師	0	その他	0									
計	14	計	3	合計	3	94	40	28	26		49	45	
(県立) 大東高 等学校	校長、副校長、教諭	26	事務	2	普通科	6	100	27	32	41		40	60
	養護教諭	1	実習教諭	1	情報ビジネス科	3	32	3	17	12		20	12
	講師	4	その他	1									
計	31	計	4	合計	9	132	30	49	53		60	72	
(県立) 千厩高 等学校	校長、副校長、教諭	38	事務	4	普通科	10	265	78	113	74		124	141
	養護教諭	1	実習教諭	4	生産技術科	3	82	28	36	18		23	59
	講師	6	その他	11	産業技術科	3	85	34	26	25		81	4
	計	45	計	19	合計	16	432	140	175	117		228	204
(私立) 一関学院 高等学校	校長、副校長、教諭	28	事務	4	普通科	12	335	106	112	117		189	146
	養護助教諭	1	実習教諭	1	計	12	335	106	112	117		189	146
	講師	3	その他	3	(通信制普通科)	5	166	53	66	39	8	74	92
	計	32	計	8									
(私立) 一関修紅 高等学校	校長、副校長、教諭	24	事務	4	普通科	16	466	170	152	144		223	243
	養護教諭	1	実習教諭	0									
	講師	5	その他	2									
計	30	計	6	合計	16	466	170	152	144		223	243	

〈高等専門学校〉

学校名	本務教職員数		科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科		男	女
											1	2		
(独立行政法人国立高等専門学校機構) 一関工業高等専門学校	校長、教授	27	未来創造工学科	20	786	179	165	141	158	143			636	150
	准教授	19	システム創造工学専攻	2	40						21	19	34	6
	講師	5												
	助教	5												
	事務	26												
	技術技能	13												
	医療	1												
計	96	計	22	826	179	165	141	158	143	21	19	670	156	

〈大 学〉

学校名	本務教職員数				学 科	学級数	生徒数	1年	2年	男	女
(私立) 修紅短期大学	学 長	1	講 師	0	幼児教育学科	2	55	27	28	7	48
	副学長	1	助 教	2							
	教 授	3	助 手	0							
	准教授	2	事 務	5							
	計		計	14	計	2	55	27	28	7	48

〈特別支援学校〉

学校名	本務教員数		本務職員数		学級数	生徒数	幼	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	
(県立) 一関清明支援学校	校 長	1	事務長・事務	5	本校舎	幼稚部	0	0	0	/	/	/	/	0	0	
	副校長	4	用務員・運転手	1		小学部	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	教 諭	90	介助員業務職員	2		中学部	10	33	13	7	13	/	/	/	23	10
	養護教諭	3				高等部	15	58	19	16	23	/	/	/	40	18
	実習教員	2			山目校舎	小学部	10	32	4	6	6	3	6	7	25	7
	講 師	14			あすなろ分教室	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						中学部	2	6	2	4	0	/	/	/	3	3
						高等部	2	4	2	1	1	/	/	/	1	3
					千厩分教室	小学部	5	11	0	5	0	0	1	5	4	7
						中学部	4	9	3	5	1	/	/	/	6	3
計	114	計	8			49	154	0	43	44	44	3	8	12	103	51

〈幼稚園・認定こども園〉

幼稚園名	教職員		収容園 児定数	学級数	学級数					男女別		
	園長	本務教員等				3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	男	女	
(市立)												
舞川幼稚園	1	4	60	3	13		3	6	4	4	9	
真滝幼稚園	1	4	60	3	12		2	7	3	7	5	
赤荻幼稚園	1	4	90	3	24		3	8	13	11	13	
摺沢こども園	1	9	60	6	44	16	8	11	9	27	17	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	10	3	6	2	2	2	5	1	
東山こども園	1	12	130	6	78	31	19	16	12	32	46	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	0	0	0	0	0	0	0
室根こども園	1	9	95	6	43	13	6	11	13	26	17	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	1	0	0	1	1	0	
川崎こども園	1	10	90	6	57	19	12	11	15	35	22	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	10	3	0	0	0	0	0	0	
藤沢こども園	1	10	105	6	68	24	11	12	21	33	35	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	8	1	5	2	3	5	
黄海こども園	1	5	65	6	21	4	5	5	7	9	12	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	2	0	0	2	1	1	
(私立)												
愛心幼稚園	1	13	90	4	70	1	16	26	27	31	39	
カトリック清心幼稚園	1	4	140	3	11	0	1	6	4	5	6	
認定龍澤寺こども園	1	42	144	9	144	41	34	36	33	65	79	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	26	6	26	9	8	9	16	10	
修短短期大学附属認定こども園	1	33	240	9	157	45	35	39	38	79	78	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	90	6	18	4	6	8	10	8	
認定こども園 一関幼稚園	1	36	133	9	133	30	31	36	36	65	68	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	34	6	34	10	14	10	20	14	
認定こども園一関南保育園	1	17	60	6	54	20	9	13	12	18	36	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	10	3	5	1	2	2	1	4	
認定こども園赤荻保育園	1	25	90	6	86	35	16	19	16	44	42	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	10	1	7	2	6	4	
認定こども園一関藤保育園	1	20	105	6	93	36	18	23	16	47	46	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	12	2	3	7	8	4	
認定こども園幸町保育園	1	22	81	6	81	30	17	17	17	39	42	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	9	3	10	3	3	4	3	7	
認定こども園桜保育園	1	29	89	6	83	33	14	19	17	46	37	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	9	3	8	3	3	2	3	5	
幼保連携型認定こども園たんぽぽ保育園	1	21	75	6	78	35	14	14	15	39	39	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	15	5	5	5	7	8	
認定こども園睦保育園	1	23	76	6	69	28	12	15	14	33	36	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	6	3	5	1	2	2	3	2	
幼保連携認定こども園花泉こども園	1	20	75	6	54	12	12	14	16	29	25	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	10	4	2	4	7	3	
幼保連携型認定こども園 はなほこども園	1	37	85	6	77	34	14	15	14	39	38	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	11	4	4	3	6	5	
公私連携幼保連携型認定こども園 わくつこども園	1	22	85	6	52	20	10	9	13	28	24	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	15	3	3	1	2	0	1	2	
認定こども園金沢保育園	1	16	112	6	73	26	18	11	18	42	31	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	12	3	7	2	1	4	3	4	
認定こども園千厩小羊幼稚園・千厩こひつじ園	1	24	100	7	70	27	15	13	15	41	29	
			上段:施設全体 下段:1号認定(旧幼稚園)	60	4	40	14	11	15	29	11	
合 計	26	471	866	89	361	1	92	133	135	191	170	

※合計数には、認定こども園の1号認定が含まれています。